

誰かのために行動する 県立旭農業高等学校の挑戦

事業の内容・趣旨等

農業高校としての日々の活動を**地域貢献のために**生かしていきます。
生徒が主体になって活動に取り組み、郷土愛や助け合いの心を育てます。
農業や農業高校としての魅力を地域に広げてきます。

海岸防災林の再生

～地図に残る復興支援活動～

東日本大震災では千葉県旭市も津波による甚大な被害を受けました。このとき、津波と松食い線虫による被害により、海岸線にあった防災林は枯れてしまいます。旭市の海岸にある防災林を再生するため、旭農業高校は、平成 30 年度より防災林再生プロジェクトの準備を進めてきました。平成 31 年 4 月、1 学年生徒全員による防災林の植樹を行いました。

50年後の未来のために・・・!!



地域の絆

本プロジェクトは本校 PTA・千葉県北部林業事務所森林管理課・千葉県農林総合研究センター森林研究所・東京大学大学院農学生命科学研究科(敬称略)、多くの人々の協力で実現しました。

農業で繋がれ！ 地域復興支援事業



歩いて足川浜まで!!



東京都立大島高校文化祭にて

幼稚園・小学校連携事業

本校の施設を近隣地区の幼稚園児や小学生の体験学習の場として利用するとともに、高校生が「教える立場」として体験学習に参加。実習を円滑に進めていくだけではなく、子どもにわかるような説明をするという経験は、高校生にとっても絶好の学習の機会になっています。

教えるのも楽しいね!



ふれあい動物園



田植え体験



稲刈り体験

復興支援プロジェクトのメンバーが大島高校の文化祭に参加し、旭農業高校で収穫した新米や落花生などの販売を行いました。少しでも復興の足がかりになればと、収益金の一部は旭市に寄付しています。



部活動プラス1運動として、陸上部・サッカー部・復興支援メンバーが旭市飯岡地区で花の植栽を行いました。

地域開放講座

本校の施設・機材等を生涯学習の場として積極的に開放しています。パン・うどん作りや、乳製品の加工(バター)などを家庭でも楽しめるように。学校の魅力をぜひ、地域の方々にも知っていただける講座となっています。

生徒もお手伝い



うどん作り体験



乳製品の加工体験

異文化理解!

ブルガリア大使館とのグローバル教育文化交流事

ブルガリア大使館を通して、本校にバラ(ブルガリアローズ)を植栽。バラに関連した料理の創作(ブルガリアレシピアワードへの参加)などの取り組みに挑戦しています。



ブルガリアレシピアワードの様子

令和元年度魅力ある県立学校づくり大賞 応募概要(千葉県立旭農業高等学校)

1 目 的

- ・農業高校としての日々の実践を地域貢献のために生かすこと。
- ・生徒が主体になって活動に取り組むことを通じ自己有用感を高めるとともに、郷土愛や相互扶助の精神を育むこと。
- ・農業高校としての存在感を地域にアピールするとともに、農業や農業高校の魅力を地域に広げていくこと。

2 成 果

- ・郷土教育の充実が図られるとともに、農業高校の魅力を伝える活動に取り組む生徒の主体的な姿が見られた。
- ・継続した取組みが連携をする学校関係者の好評を得ており、農業高校でしかできない体験を望む声も多く寄せられた。

3 準備段階の工夫

- ・教育活動としての位置付けを明確にするとともに、事前事後指導を計画し、活動の意義や目的について生徒に理解させること。
- ・生徒が主体となって活動できるよう、普段の実習等においても主体性を育てる授業等の工夫を行うこと。
- ・外部団体等と密に連携しながら計画的な準備を進めるとともに、活動内容の充実を図ること。

4 実施段階の工夫

- ・園児や児童、生徒の安全に配慮し、作業内容の精選や職員の複数配置、不測の事態が発生した際の対応への措置等を講じること。

5 広報活動とその結果

- ・各種メディアの取材を生徒・職員が受けている。新聞・TV等でも報道され、話題となった。
- ・ホームページは年間あたり347回更新(2018年度実績)し、YouTube等を利用した教育活動内容の紹介も行われている。今年度の閲覧カウンタは、15万回を超えた。
- ・学校案内等において、活動内容の目玉として紹介している。

6 取組みへの反響

- ・地元住民の方や、小学校・幼稚園関係者からの感謝の言葉をいただいた。
- ・職員間では実施時期等、いくつかの課題を残したものの、継続的な取り組みを通して得られる達成感があり、有意義な教育活動になったという声が多かった。

7 今後の発展

- ・地域との繋がりを重視しつつ、農業の魅力を伝えられるような教育活動を模索していく。
- ・農業後継者の育成や農業に興味を持つ若手の育成に貢献する。